

(4) サニタリーまわりの不具合事例 (図解)

※ は特に要注意箇所

換気・ダクト

- [M01] 機器のがたつき・脱落・落下等
- [M02] 設置上の不具合・対策不十分による漏電・不動作
- [M03] 取り付けネジの不足(一部取り付け忘れ)で振動が発生
- [M04] 開口寸法が大きくビス位置が悪く、ビス周辺にひび割れ
- [M05] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入
- [M06] 換気スリーブがなく、排気が壁体内に浸入
- [M07] 空調換気扇の本体と壁のコーキング不良による雨水浸入
- [M08] ドレン配管の脱落によるドレン水の壁内浸入
- [M09] 専用配線がされていない。配線は手ヨリ接続になっていたため過熱した
- [M10] 換気扇の取付時に電源コードを壁との間に押し込んだため、取付ネジでコードを傷つけた
- [M11] 排気ダクトのつぶれにより換気が不良
- [M12] 本体直近でダクトを曲げたためダンパーが開閉しない
- [M13] 誤配線による作動不良
- [M14] 100V機種に200Vを印加したため不動作・損傷
- [M15] ダクト接続部の外れにより天井内排気になっていた
- [M16] 換気風量が確保できない

便座

- [J03] 水漏れが電源コンセントにかかり、漏電・電源ブレーカが作動する
- [J05] 便座が外れて怪我をする
- [J06] 便座に触れると感電する
- [J07] 便蓋の表面に傷があるとして返品された
- [J09] 温水洗浄便座に通水しないで通電・裏返ししたため、安全装置が作動し、温水の沸き上げや便座暖房が働かない

便器

- [J01] 便器洗浄後、その便器又は、他階の便器封水(水たまり)が少なくなる
- [J02] タンクレス便器の洗浄が弱く、汚物が十分に流れない
- [J11] もらいさびなどの異物付着がある

排水管

- [J04] 便器の排水接続部、タンクの給水接続部から漏水する
- [J08] タンクの給水接続部から漏水する
- [K02] 給排水接続ができない

水栓

- [K09] シャワーホースがホースカバーに引っかかる
- [K11] 水栓本体のガタつき、シールパッキンのはみ出しが発生した
- [K12] 水栓の吐水量が少ない

電気

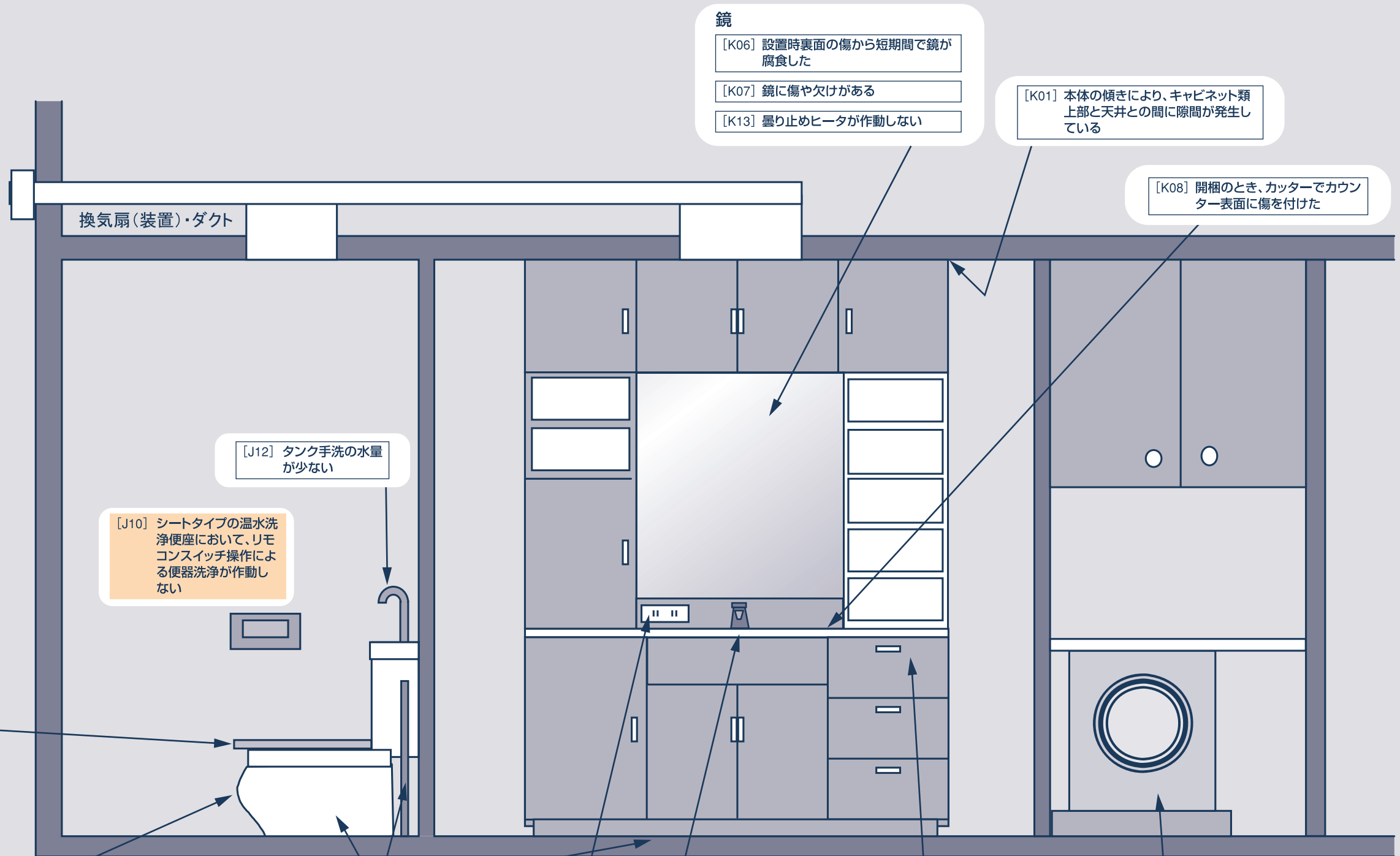
- [K03] 電気接続ができない
- [K04] 電源コードのビニール巻直接続により、漏電が発生した
- [K05] 電線の損傷により、漏電が発生した

鏡

- [K06] 設置時裏面の傷から短期間で鏡が腐食した
- [K07] 鏡に傷や欠けがある
- [K13] 曇り止めヒータが作動しない

- [K01] 本体の傾きにより、キャビネット類上部と天井との間に隙間が発生している

- [K08] 開梱のとき、カッターでカウンター表面に傷を付けた



【確認項目表】

(4) サニタリーまわり 【J】トイレ

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

【J**】の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、【J**】のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】 注）当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注）検査・確認時期の（○）は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計	封水	[J01] 便器洗浄後、その便器又は、他階の便器封水（水たまり）が少なくなる	●各便器洗浄後、その便器又は、他階の便器水封（水たまり）が少なくなることはないか	●目視	○			○	●2階以上に便器を設置する場合は、便器洗浄時に、排水管内で大きな圧力変動が発生する危険性があるため、必ず通気管を立ち上げてください。
	洗浄不良	[J02] タンクレス便器の洗浄が弱く、汚物が十分に流れない	●必要給水流量（給水条件）は確保されているか	●説明書記載に沿った給水流量の測定	(○)			○	●給水管から瞬間的に流れる給水量で洗浄するため、必要給水流量の確保が必要です。
	漏電	[J03] 水漏れが電源コンセントにかかり、漏電・電源ブレーカが作動する	●コンセント位置は、施工説明書に記載のとおりになっているか	●寸法測定	○			○	●給水位置の近くにコンセントを設置しないでください。
施工前準備	漏水	[J04] 便器の排水接続部、タンクの給水接続部から漏水する	●給排水管の取出し位置は、施工説明書に記載のとおりになっているか	●寸法測定	○			○	
施工中	外れ	[J05] 便座が外れて怪我をする	●便器、便座は堅固に固定されているか	●触診		○	○		●取り付けボルト、ナットを確実に締めてください。
	感電	[J06] 便座に触れると感電する	●アース工事は行っているか	●目視		○	○		
	損傷	[J07] 便蓋の表面に傷があるとして返品された	●便座に傷、溶剤痕等がないか	●目視			○	○	●表面に傷などが無いことを確認してください。
	漏水	[J08] タンクの給水接続部から漏水する	●ナット接続部の締め付けは十分か	●触診、増締め			○	○	
施工後・完成時									
試運転	作動不良	[J09] 温水洗浄便座に通水しないで通電・裏返しのため、安全装置が作動し、温水の沸き上げや便座暖房が働かない	●洗浄水の温度、暖房便座の温度は適正か	●作動確認				○	●通水し、タンクに水が溜まってから、電源をプラグを入れてください。
		[J10] シートタイプの温水洗浄便座において、リモコンスイッチ操作による便器洗浄が作動しない	●リモコンによる洗浄作動は正常か	●作動確認				○	●施工説明書記載のとおり、便器洗浄方式（便器品番）に合致したりリモコン設定をしてください。
	汚れ	[J11] もらいさびなどの異物付着がある	●ボウル内に異物はないか	●目視			(○)	○	●便器ボウル内に配管の切粉など異物が無いか確認してください。
	水量不足	[J12] タンク手洗の水量が少ない	●フィルターのごみづまりはないか	●目視				○	

【施工以外の要因】

業者間連携等									

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

●便器の設置、給排水接続は管工事に相当。コンセント差込み以外の電源接続は電気工事に相当しますので、該当する工事に資格者が工事を行ってください。

[確認項目表]

(4) サニタリーまわり [K] 洗面化粧ユニット

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

[K**] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、[K**] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[計画・設計、施工要因]

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認 事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
計画・設計					施工前	施工中	施工後	試運転時	
施工前準備	隙間発生	[K01] 本体の傾きにより、キャビネット類上部と天井との間に隙間が発生している	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築床/壁強度は十分であるか ● 不陸、不陸調整は適切であるか 	●目視、触診、寸法測定	○				
	接続不可	[K02] 給排水接続ができない	●給排水管の取出し位置や寸法等は、説明書や図面どおりであるか	●寸法測定	○				
		[K03] 電気接続ができない	●電源の取出し位置や寸法等は、説明書や図面どおりであるか	●寸法測定	○				
漏電	[K04] 電源コードのビニール巻直結接続により、漏電が発生した	●電源コンセントは、説明書どおり設置されているか	●目視	○					
施工中	漏電	[K05] 電線の損傷により、漏電が発生した	●ミラー部のビスが裏面の電源コードに触れてないか	●目視		○			●部品取り付けビスによる配線破損に注意(漏電の恐れ)してください
	腐食	[K06] 設置時裏面の傷から短期間で鏡が腐食した	●鏡裏面に傷はないか	●目視		○			●ミラーキャビネットの仮置時に注意(鏡の傷防止)してください
		[K07] 鏡に傷や欠けがある	●鏡表面(表裏)に傷欠けはないか	●目視		○			
	損傷	[K08] 開梱のとき、カッターでカウンター表面に傷を付けた	●カウンターやボール表面に傷はないか	●目視		○			
		作動不良	[K09] シャワーホースがホースカバーに引っかかる	●ホースカバーの位置は適切であるか	●作動確認、位置確認		○		
	[K10] 引き出しがスムーズに動かない		●レールに変形等異常はないか	●作動確認		○			
ガタツキ	[K11] 水栓本体のガタツキ、シールパッキンのはみ出しが発生した	●カラテ取付強度は確保されているか	●触診、締付状態確認		○				
施工後 (通水・通電前)									
試運転 (通水・通電前)	水量不足	[K12] 水栓の吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓開閉調整は適切であるか ●フィルターにごみ詰まりは無いか 	●目視、作動確認				○	
	作動不良	[K13] 曇り止めヒータが作動しない	●配線間違いはないか	●作動確認、電圧確認				○	

[施工以外の要因]

業者間 連携等									●ユニット設置完成後に給水接続工事を行う場合は、設備業者へ、点検口の設置など注意事項を伝達してください。
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 一次側給水給湯管との接続工事は、配管技能士など有資格者が行う。
- コンセント利用以外の配線接続工事は電気工事の有資格者が行ってください。

【確認項目表】

(4) サニタリーまわり 【L】洗濯機まわり

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

【L**】の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、【L**】のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計	計画ミス	[L01] 施工出来ない、納まらない	●設置場所の寸法及び床面の状態を確認する	●必要に応じ現場調査	○				
			●水栓の種類及び位置を確認する	●必要に応じ現場調査	○				
			●排水管の立上げ位置、立上げ寸法を確認する	●必要に応じ現場調査	○				
施工前準備									
施工中	施工不良	[L02] 洗濯パンがたつく	●洗濯パンは堅固に固定されているか	●目視、触診		○			
	漏水	[L03] 洗濯パン・トラップと排水管接続部から漏水する	●排水管は十分差し込まれているか	●目視、触診		○			
		[L04] 洗濯パンとトラップ取付部から漏水する	●ラップ締付治具で十分締め付けたか	●目視、触診		○			
施工後・完成時	漏水	[L05] トラップ付属の排水エルボと洗濯機排水ホース接続部から漏水する	●洗濯機の排水ホースをトラップのエルボに十分差し込んだか	●目視、触診		○			●クリップバンド等でしっかり固定する
	苦情	[L06] 洗濯機本体や水栓金具が腐食する	●浄化槽からの塩素ガスが逆流しないよう対策したか	●目視			○		
		[L07] もらい錆や異物が残る	●施工終了後の清掃をしっかりとったか	●目視				○	
試運転									

【施工以外の要因】

業者間連携等									

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 給水工事は、関連する法令、法規にしたがって、必ず有資格者が行ってください。

[確認項目表]

(4) サニタリーまわり [M] 24時間換気ユニット

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

[M**] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、[M**] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[計画・設計、施工要因]

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計									
施工前準備	設置不具合	[M01] 機器のがたつき・脱落・落下等	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体取付部の強度は確保されているか ● 機器の設置場所、排気ダクトの材料は取付工事説明書どおりか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視、建築・設備図面確認 ● 目視・取付工事説明書、建築、設備図面確認 	○				
		[M02] 設置上の不具合・対策不十分による漏電・不作動	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源、配線、配管等の接続位置は適正か ● 湿気の多いところに取り付ける場合の漏電ブレーカー、アース接続が確保されているか 	● 点検口から目視	○				
施工中	振動	[M03] 取り付けネジの不足（一部取付け忘れ）で振動が発生	● 本体ビス固定はメーカー指定の方法か	● 触診		○			
	ひび割れ	[M04] 開口寸法が大きくビス位置が悪く、ビス周辺にひび割れ	● 本体は天井等に堅固に固定されているか	● 触診		○			
	雨水浸入	[M05] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入	<ul style="list-style-type: none"> ● ダクト貫通スリーブと壁のシーリングは適正か ● ダクトは外に下がり勾配になっている事を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視+水準器 ● 目視 		○			
	排気不良	[M06] 換気スリーブがなく、排気が壁体内に浸入	● 取付工事説明書どおりのスリーブ（パイプ）が設置されているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視 ● 設備図面確認 		○			● 硬質塩ビパイプを使用する場合、塩ビ用接着剤を使用して接着する
	雨水浸入	[M07] 空調換気扇の本体と壁のコーキング不良による雨水浸入	<ul style="list-style-type: none"> ● 取付工事説明書どおりのコーキングが施工されているか ● ダクトは外に下がり勾配になっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視 ● 目視 		○			
	ドレン水浸入	[M08] ドレン配管の脱落によるドレン水の壁内浸入	● 取付工事説明書どおりのドレン配管が施工されているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視 ● 設備図面確認 		○			
	過熱・焼損	[M09] 専用配線がされていない。配線は手ヨリ接続になっていたため過熱した	● 専用回線の電気接続が規程どおりにされているか（電気設備の技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う）	● 点検口から目視		○			
	電源コード損傷	[M10] 換気扇の取付時に電源コードを壁との間に押し込んだため、取付ネジでコードを傷つけた	● 取付工事説明書どおりの電気工事がされているか	● 目視		○			
施工後・完成時	排気不良	[M11] 排気ダクトのつぶれにより換気が不良	● ダクト途中に変形や、つぶれた箇所はないか（禁止工事：極端な曲げ・多数の曲げ・吐出口すぐそばでの曲げ・しぼり・フレキシブルダクトのS字配管）	● 点検口から目視		(○)	○		
		[M12] 本体直近でダクトを曲げたためダンパーが開閉しない	● ダクト曲部に逆流防止ダンパーが接触していないか	● 点検口から目視		(○)	○		
試運転	不作動	[M13] 誤配線による作動不良	● リモコンの配線接続は正しいか	● 作動確認		(○)		○	
		[M14] 100V機種に200Vを印加したため不作動・損傷	● 100V/200Vの配線違いはないか	● 電圧確認		(○)		○	
	排気不良	[M15] ダクト接続部の外れにより天井内排気になっていた	● ダクト接続部に外れや、漏気、結露はないか	● 作動確認				○	
			<ul style="list-style-type: none"> ● 運転時に異常音や振動はないか ● スイッチ操作に対し正しく動作するか 	● 聴診				○	
風量不足	[M16] 換気風量が確保できない	● 風量は正常な値か	● 簡易風量確認				○		

[施工以外の要因]

業者間連携等	雨水浸入	[M05] ダクト貫通部を伝わり雨水が進入	● ダクト貫通スリーブと壁のシーリングは適正か	● 目視+水準器		○			
			● ダクトは外に下がり勾配になっている事を確認する	● 目視		○			

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 電源接続工事は、電気工事に該当し、有資格者でなければ工事できません。